

平成28（2016）年度
東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻
修士課程（文化・人間情報学コース）
入学試験問題
専門科目

（平成27年8月17日 14：00～16：00）

試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはいけません。開始の合図があるまで、下記の注意事項をよく読んでください。

1. 本冊子は、文化・人間情報学コースの受験者のためのものである。
2. 本冊子の本文は6ページである。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には申し出ること。
3. 解答用紙は3枚ある。第1問は、解答用紙1枚を使うこと。（裏面を使ってもよい）第2問は、選択した用語ごとに解答用紙1枚を使うこと。このほかにメモ用紙が1枚ある。
4. 解答用紙の上方の欄に、問題の番号（例：「第1問」）、選択記号がある場合にはその記号（例：「第2問（a）」）及び受験番号を必ず記入すること。問題番号、選択記号、及び受験番号を記入していない解答は無効とする。
5. 解答には必ず黒色鉛筆（または黒色シャープペンシル）を使用すること。
6. 第1問は日本語で答えること。第2問は日本語か英語で答えること。
7. 試験開始後は、中途退場を認めない。
8. 本冊子、解答用紙、メモ用紙は持ち帰ってはならない。
9. 次の欄に受験番号と氏名を記入せよ。

受験番号	
氏名	

文化・人間情報学 第1問 Question L1

次の (A) (B) 2つの文章を読んで、問1から問3までの質問に日本語で答えなさい。第1問全体(問1から問3まで)で解答用紙1枚を使いなさい。ただし裏面も使ってよい。

(A)

下記出展の文章を掲載しています。

下記出展の文章を掲載しています。

(E.H. カー著、清水幾太郎訳『歴史とは何か』岩波書店、1962年)

(原注)

* R. Collingwood, *The Idea of History* (1946), p. xii.

** A. Froude, *Short Studies on Great Subjects*, i (1894), 21.

*** *Beyond Good and Evil*, ch. i.

(B)

下記出展の文章を掲載しています。

下記出展の文章を掲載しています。

(C. ギアーツ著、吉田禎吾他訳『文化の解釈学』[I] 岩波書店、1987年)

問1 (A)の下線部①の比喩が指摘する内容について、200字以内で述べなさい。

問2 (B)の下線部③が意味するところを、「まばたき」とは異なる事例を用いて300字以内で説明しなさい。

問3 (A)における下線部②と、(B)における下線部④の文意を十分に理解し、それを踏まえて、あなたが学際情報学府において取り組みたいと思っている研究の目的や方法について具体的に述べなさい。その際、「客観的解釈」と「解釈される意味の構造のヒエラルキー」の両方の用語を文中に用いること。解答用紙の残りすべてを使ってよい。

文化・人間情報学 第2問 Question L2

以下の(a)から(f)の6問のうち、2問を選び、それぞれ20行以内で答えなさい。英語で答えてもよい。ひとつの問題についてそれぞれ1枚の解答用紙を使い、解答文のはじめに、必ず選んだ記号を示すこと。

(a) 認知活動におけるworking memory (作業記憶あるいは作動記憶) の役割について説明しなさい。

(b) 「アクションリサーチ (action research)」と「フィールドワーク (fieldwork)」を比較しつつ説明しなさい。

(c) ある事象が生起するまでに要する時間 (機械の寿命、客の来店間隔、窓口の待ち時間など。以下、単に「待ち時間」と言う) を表す確率分布として指数分布がしばしば用いられる。指数分布 $Ex(\lambda)$ の確率密度関数は

$$f(x) = \begin{cases} \lambda e^{-\lambda x} & (x > 0) \\ 0 & (x \leq 0) \end{cases}$$

である (ただし $\lambda > 0$)。待ち時間のモデルとして指数分布が持つ特徴を説明せよ。

(d) 「異人」とは何か。積極的意味と消極的意味の二つの側面から、实例をあげて説明しなさい。

(e) 「21世紀型スキル」と「情報リテラシー」の関係について述べなさい。

(f) 「予言の自己成就 (self-fulfilling prophecy)」と「状況の定義 (definition of the situation)」について簡潔に説明し、両者を関連付けられる具体的な事例を挙げなさい。